

2018 7/10

No.2070

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



気象庁は6月29日、関東甲信越地方が梅雨明けしたとみられると発表。この日が海開きの逗子海岸では真夏のような日差しが照りつける中、地元の小学生らが一斉に海へ走り込んだ。



## contents

### 視点・点描

世界初の水素ホテルに注目

3

### 講演録

今、なぜ、女性活躍？

4

国際潮流から考える日本の現状とこれから  
関西学院大学客員教授 大崎 麻子

### 国際

米、シンガポール合意支えず  
激動アジアに生きる日本の道

8

### 社会

命運分けた初動の3日間  
日大アメフト問題

12

### 企業最前線

社会インフラ老朽化に対応  
新材料・新工法の開発に拍車

14

### くらし2018

十分に説明受け、判断を

16

### アジアの風

日本ってホントに豊かで自由なの？

18

### NNAアジア経済リポート

19

### 事務局だより

◇2018年7月定例講演会

2018年7月18日(水)

午後1時30分～3時

ロイヤルホールヨコハマ5階

「リビエラの間」

講師は皇室ジャーナリストの

山下晋司さん

演題は「天皇陛下のお気持ち

～退位が及ぼす影響」

# 視点



## 世界初の水素ホテルに注目

川崎市川崎区殿町の国際戦略拠点キングスカイフロントに6月オープンした東急REIホテルが話題になっている。世界初となる水素で発電する「水素ホテル」。照明など電気使用量の約3割を補うという。長崎県のハウステンボスで水素エネルギーを使ったホテルが開業していたが、使用済みプ

ラスチックが原料の「低炭素水素」を使う点が画期的。さらに「発電オーブンした東急REIホテルが話題になつていて。世界初となる水素で発電する「水素ホテル」。普及への試みとして注目したい。

環境省の地域循環型水素地産地消モデル実証事業、川崎市の「川崎工コタウン事業」の一環として

導入。ホテルで使われた歯ブラシやヘアブランなども原料に加えている。水素は、約5キロメートル離れた同事業所で、アンモニアを製造する過程で作られている。市町村が集められた使用済みプラスチックを、入札により処理料金を受け取つて引き取つて破碎、熱処理し水素と二酸化炭素に分解。その高さ60メートルの巨大なプラントは、工場夜景の名所の一つになつていて。

キングスカイフロントには、62企業・研究機関が進出決定済みで、ほとんどの施設が既に完成。しかし、コンビニやにぎわいをつくる施設はこれまでなかつた。ホテルを中心にして研究者同士の交流が生まれることへの期待も大きい。新エネルギーとオープンイノベーション、どちらにも期待がかかつている。

(神奈川新聞社川崎総局長  
瀧村 誠)



川崎キングスカイフロント東急REIホテルでの純水素燃料電池披露式